

思川開発事業（南摩ダム）の事業実施計画の変更について

1 概要

古河市水道事業では、安全で安心な水を供給するため、思川表流水の取水に係る安定水利権の取得に向け、独立行政法人水資源機構を主体とする思川開発事業へ参画しております。

今般、思川開発事業工期の延伸及び総事業費の増額変更に伴う実施計画第7回変更に対し、国土交通省からの認可について独立行政法人水資源機構から通知されたため、ご報告いたします。

2 工期の変更

変更前：昭和44年度～令和6年度

変更後：昭和44年度～令和8年度（2年延伸）

3 事業費の変更

変更前：2,050億円

変更後：2,100億円（50億円の増額）

4 事業費の変更要因

主な変更要因	増減	変更内容
① 現場条件の変更等	+28億円	導水路・送水路工事の地質条件の変更に伴う対策費用等
② 工期延伸に伴う経費	+18億円	継続的なデータ取得や設備等の維持費用
③ コスト縮減	▲1億円	構造・施工方法の変更
④ 事業費の変動要因への対応	+5億円	予見不可能な将来の事業費の変動要因に対応するための費用
合 計	+50億円	

5 古河市水道事業負担影響額（見込）

約6億円の増額（変更前：約89億円 ⇒ 変更後：約95億円）

※水資源機構割賦負担金（ダム建設に係る負担金）、消費税等込